

令和 7 年12月10日

令和 7 年第 3 回神奈川県議会定例会

## 厚生常任委員会資料

(令和 7 年12月 5 日付託分)

健康医療局

## 目 次

ページ

### 議案（条例その他 その4）

- 1 事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例の概要【健康医療局関係】…………… 1
- 2 動産の取得の内容…………… 2

1 事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例の概要【健康医療局関係】

(1) 改正の趣旨

市町村における持続可能な行政サービスの提供に向け、市町村単位では処理件数が少ない事務権限等が県に返還されるなど、所要の改正を行うものである。

(2) 改正の内容

ア 事務権限の返還等に伴う改正〔1項目〕

麻薬及び向精神薬取締法等に基づく麻薬取扱者及び向精神薬取扱者の免許の申請等に係る事務のうち、麻薬小売業者及び麻薬管理者（麻薬管理者のいない麻薬診療施設にあっては、麻薬施用者）が提出する麻薬年間届に係る事務について、電子による届出が導入されることに伴い、経由の廃止を希望した市町村を、移譲先市町村から削除するもの

イ 栄養士法の一部改正に伴う事務の変更に伴う改正〔2項目〕

栄養士法の一部改正により、管理栄養士養成施設を卒業見込みの者に係る栄養士免許の申請及び交付手続に係る事務について、管理栄養士養成施設卒業（見込）者は管理栄養士国家試験の受験資格として必要な栄養士免許の取得が不要とされたため、市町村を経由していない同事務を移譲事務に含めるもの

ウ 薬事法施行規則等の一部を改正する省令に基づく事務の終了に伴う改正〔1項目〕

旧薬種商が店舗で販売する医薬品区分の変更の届出受理等の事務が、移譲先の横浜市内で生じ得なくなったことに伴い、同事務を同市への移譲事務から除くもの

(3) 施行期日

令和8年4月1日

## ２ 動産の取得の内容

- (1) 品目及び数量 都道府県備蓄用ラピアクタ点滴静注液バイアル150mg  
63,670バイアル
- (2) 契約者名 塩野義製薬株式会社  
代表取締役会長兼社長ＣＥＯ 手代木 功
- (3) 契約金額 １億4,011万5,679円
- (4) 納入期限 令和８年３月31日
- (5) 契約の方法 随意契約
- (6) 随意契約理由 塩野義製薬株式会社は、抗インフルエンザウイルス薬「ラピアクタ」の製造・販売に係る独占的ライセンスを持っており、通常流通用ラピアクタとは別に、新型インフルエンザ対策に係る抗インフルエンザウイルス薬の確保用として、価格を低く設定し、国及び都道府県に直接販売する行政備蓄用ラピアクタを製造販売している。  
本件は、特定の物品を購入するものであり、かつ当該物品の調達相手方は、塩野義製薬株式会社に特定されるものであるため、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令第11条第１項第１号に基づき、塩野義製薬株式会社との随意契約により物品購入契約をすることとしたものである。